

浪江町について

資料 1

- 人口・令和5年11月末 15,206人(居住人口 2,130人) 参考:平成23年3月(震災時)人口 21,434人
- 位置・福島県の最東端 東経141°2'49" 東は太平洋、西は阿武隈山系の稜線まで延びています。
- 面積・223.14km² 7割近くが山林で、双葉郡総面積の4分の1を占めています。
- 河川・北側を流れる請戸川、南部を流れる高瀬川は河口近くで合流し請戸川となって太平洋に注いでいます。
- 交通・JR常磐線(浪江駅)
常磐自動車道(浪江IC)
国道6号を基点として、県都福島市に通じる
国道114号が町を東西に横断しています。
- 気候・東日本型海洋性で年間平均気温は12.5℃と温暖です。



避難指示解除と復興への歩み

- 平成29.3 一部避難指示解除(帰還困難区域を除く)
- 平成29.6 災害公営住宅 22戸完成
- 平成29.8 再生賃貸住宅 2棟80戸完成
- 平成29.11 震災後初となる「浪江十日市」開催
- 平成30.3 災害公営住宅 63戸完成
- 平成30.3 フォーアールエナジー(株)浪江事業所 開所
※避難指示解除後初となる産業団地への工場立地
- 平成30.4 浪江にじいろこども園 開園
- 平成30.4 なみえ創成小学校・なみえ創成中学校 開校
- 令和 1.7 イオン浪江店オープン
- 令和 2.3 福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R) 開所
- 令和 2.3 JR常磐線全線開通
- 令和 2.3 福島ロボットテストフィールド浪江滑走路 開所
- 令和 2.3 ゼロカーボンシティ宣言
※2050年までにCO2排出実質ゼロを宣言

- 令和 2.4 請戸漁港にて競り再開
- 令和 2.8 道の駅なみえ プレオープン
- 令和 2.9 請戸住宅団地(災害公営住宅)26戸完成
- 令和 3.3 道の駅なみえ グランドオープン
- 令和 3.9 苅宿地区に乾燥調製貯蔵施設 完成
※令和 3.10 棚塩地区に乾燥調製貯蔵施設 完成
- 令和 3.10 震災遺構浪江町請戸小学校 開館
- 令和 4.8 浪江ランドデザイン公表
- 令和 4.9 国際研究教育機構 誘致決定
- 令和 5.3 一部避難指示解除(帰還困難区域内 域特定復興
再生拠点区域)
- 令和 5.4 福島国際研究教育機構(F-REI) 開所
- 令和 6.1 特定帰還居住区域復興再生計画の認定

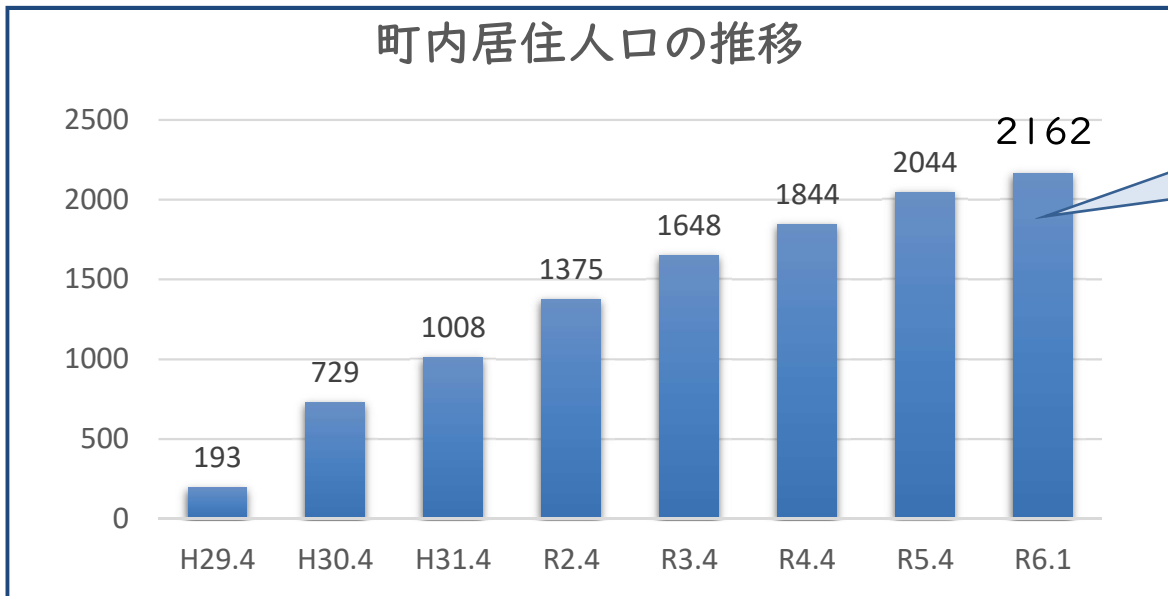
町内の人口動態

平成23年3月11日 東日本大震災および原子力発電所事故により
全町避難、町内全域が避難指示区域へ



平成29年3月31日避難指示を解除（帰還困難区域を除く）
令和5年3月31日特定復興再生拠点の避難指示解除（帰還困難区域の一部）

町内居住人口の推移



居住人口:2,162人
居住世帯:1,364世帯
(令和6年1月末時点)

浪江町民の数

男	7,503人
女	7,606人
計	15,109人
	6,656世帯

(令和6年1月末時点)



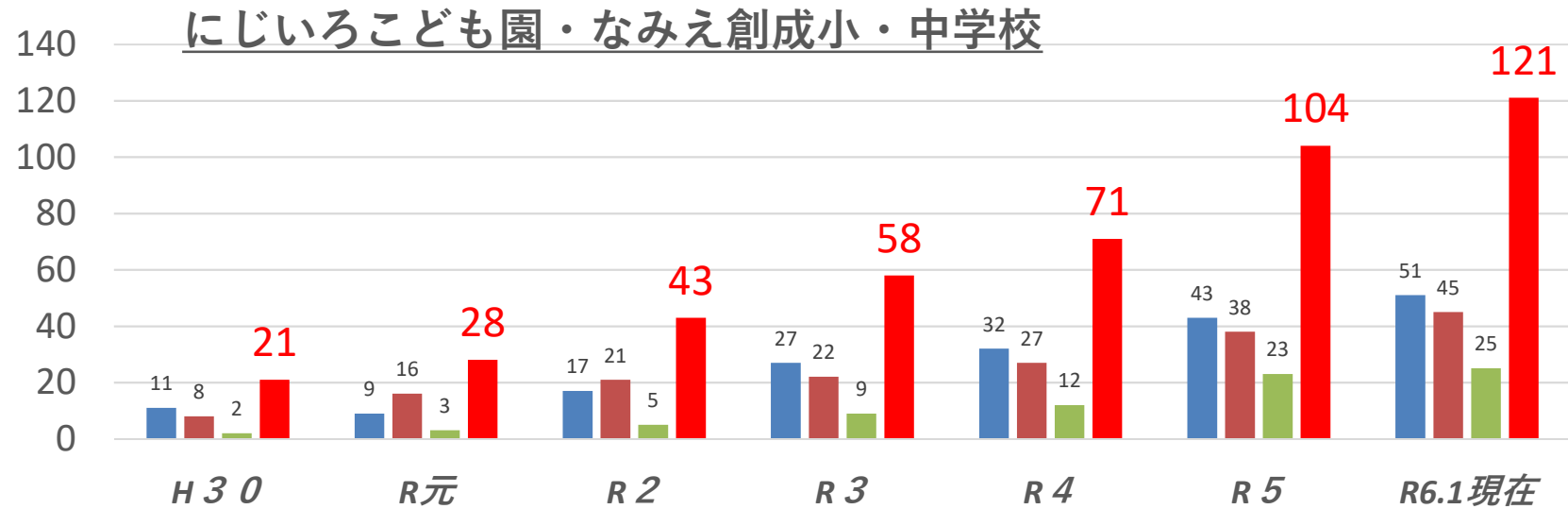
浪江町は、宝島社が発行する「田舎暮らしの本」(2024年2月号)で発表されました『2024年版 第12回 住みたい田舎ベストランキング』において、「人口1万人未満の町」の2部門で1位を獲得しました!

※住みたい田舎ランキングとは
宝島社編集部において、全278項目の独自アンケートを行い、地域の魅力を数値化し、ランキング形式で「住みたい田舎」として発表をおこなうものです。
2024年版では全国587自治体が参加しています。

【全国人口1万人未満の町の部】

総合部門 第1位
若者世代・単身者世代部門 第1位
子育て世代部門 第3位
シニア世代部門 第3位

町内の人口動態（園児・児童・生徒）

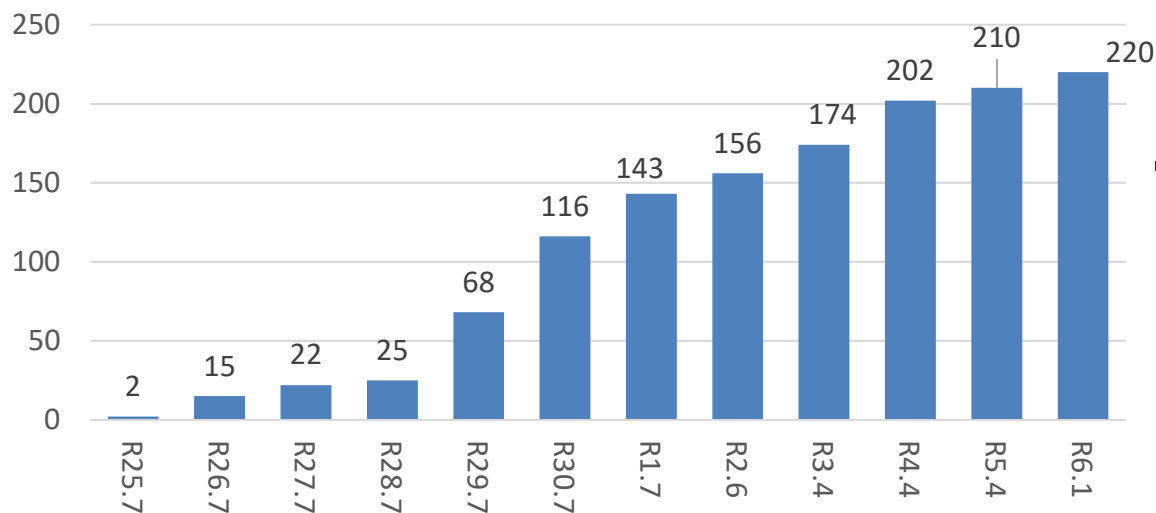


■ こども園計 ■ 小学校計 ■ 中学校計 ■ 計

	こども園計	小学校計	中学校計	計
H30	11	8	2	21
R元	9	16	3	28
R2	17	21	5	43
R3	27	22	9	58
R4	32	27	12	71
R5	43	38	23	104
R6.1現在	51	45	25	121

新たな産業と雇用の創出

町内での創業・再開した事業者数



連携協定締結

- ・福島国際研究教育機構 (F-REI)
- ・株式会社良品計画
- ・福島県酪農協同組合および全国酪農業協同組合連合会
- ・双葉町・南相馬市・日産自動車(株)・フォーアールエナジー・福島日産自動車・日産プリンス福島販売・イオン東北・日本郵政・長大・ゼンリン
- ・丸紅(株)、(株)日立製作所、パナソニック(株)、みやぎ生協福島支部
- ・隈研吾建築都市設計事務所、伊東順二事務所、住友商事(株)
- ・三井住友海上火災保険(株)
- ・弘前大学、福島大学、東京大学、新潟大学、東京工業大学、福島学院大学

町内に店舗・施設がオープン

- 令和元年7月 イオン浪江店 オープン
- 令和3年3月 道の駅なみえグランドオープン
- 令和3年8月 いこいの村なみえグランドオープン

震災後 産業団地に立地した企業

【北産業団地】

- ・バイオマスレジン福島
- ・かもめミライ水産

【藤橋産業団地】

- ・フォーアールエナジー(株)
- ・静光産業(株)
- ・(株)一路
- ・富士コンピューター(株)
- ・REBGLO
- ・BSホールディングス(株)

【南産業団地】

- ・曾澤高圧コンクリート(株)
- ・(株)ダイイチ
- ・(株)トッキュウ

【棚塩産業団地】

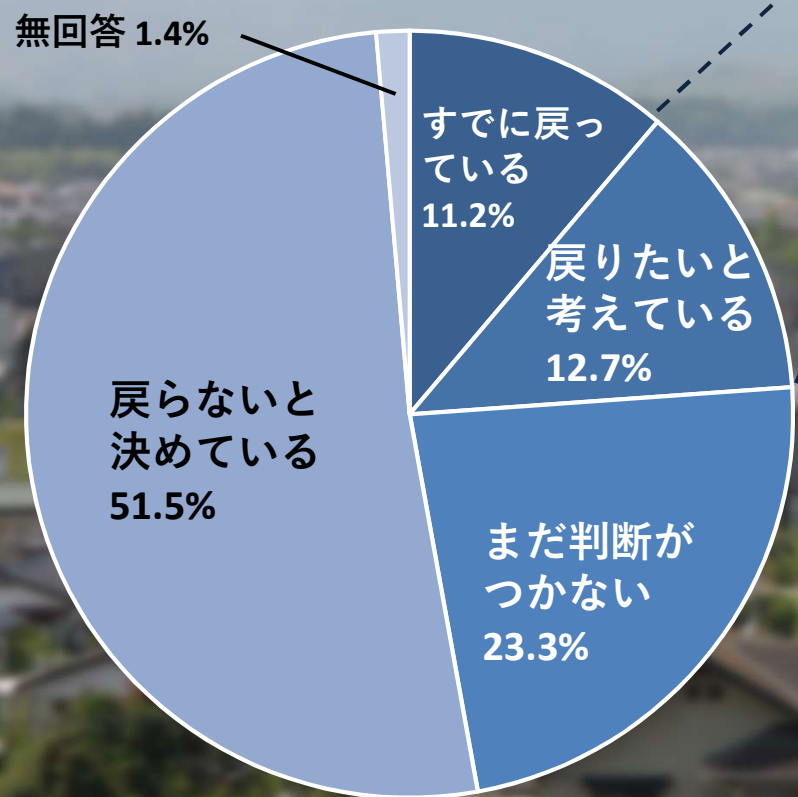
- ・福島水素エネルギー研究フィールド
- ・福島高度集成材製造センター
- ・福島ロボットテストフィールド
- ・日揮ホールディングス(株)
- ・ふくしまハイドロダプライ

【産業団地外】

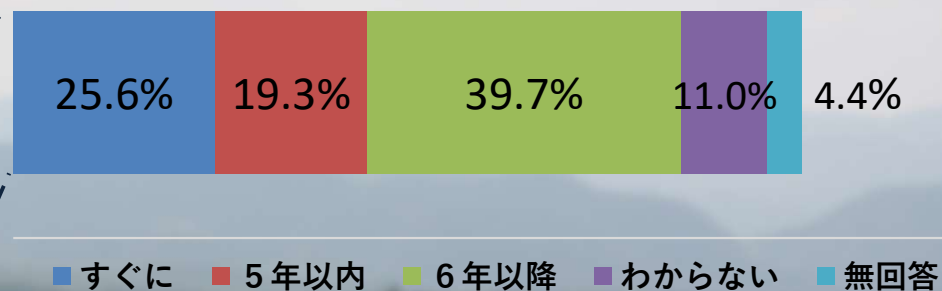
- ・LEシステム(株)
- ・イガラシ綜業(株)

住民意向調査の結果

帰還の意向



帰還の時期



調査の概要

- ・調査対象 世帯の代表者 7,222世帯
- ・調査時期 令和5年11月20日～12月10日
- ・回収数 2,867世帯
- ・回収率 39.7% (前年度47.2%)

今後の浪江町の姿

【市街地の再生】

「まちの顔」として、にぎわいの復活のため、浪江駅周辺の整備を計画しています。

令和8年度末の完成を目指します。



【ゼロカーボンシティの推進】

原子力災害の被災地として、原子力や化石燃料に依存しない、再エネや水素などのクリーンエネルギーによる復興まちづくりを目指します。



【国際的研究都市】

福島国際研究教育機構 (F-REI) は、福島復興再生特別措置法に基づく特別法人として国が設立する研究教育機構です。

F-REIの持つ研究開発・産業化・人材育成・司令塔の4つの機能を発揮するための取組を一体的に推進します。

主な研究内容

- ロボット
- 農林水産
- エネルギー
- 放射線科学・創薬医療・放射線の産業利用
- 原子力災害に関するデータや知見の集積・発信

人口増加想定 (参考)

研究ユニット数 50×10 人 = 500人

家族 (全国平均世帯人数 2.25 人)、F-REI 職員 (150 人) を含め、1,175 人程度の増加を見込んでいます。

その他、以下のような要素による上積みを見込んでいます。

- 研究実績の産業化による流入企業
- 研究設備メンテナンス企業、用品の調達先
- 大学生、大学院生 (特に町との協定締結済みの大学)